

平成29年11月28日（火）14時00分～16時00分

枚方市市民会館 3階 第3会議室

構成団体	(欠席) 枚方市民生委員児童委員協議会	地縁組織 (地域活動団体)
	枚方市老人クラブ連合会	
	(欠席) 枚方市コミュニティ連絡協議会	
	枚方市校区福祉委員会協議会	中間支援組織
	シルバー人材センター	
	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ 枚方拠点	NPO
	大阪高齢者生活協同組合	ボランティア団体
	枚方市介護支援専門員連絡協議会	
	枚方市通所・訪問リハビリテーション連絡協議会	
	枚方市特別養護老人ホーム施設長会	
	枚方市デイサービス連絡協議会	
	枚方市訪問介護事業者会	社会福祉法人
	枚方市社会福祉協議会	
枚方市社会福祉協議会	社会福祉協議会	
案 件 名	1. サービス事業等の実績報告について 2. 第2層協議体（元気づくり・地域づくり会議）の活動報告について	
協 議 事 項		
事 務 局	枚方市長寿社会部 地域包括ケア推進課 枚方市高齢者サポートセンター（地域包括支援センター）	

発言者	内容
司会 （地域包括ケア推進課）	それでは定刻となりましたので、平成29年度第2回第1層協議体を開催いたします。 本日はご多用のなか、本会議にご出席くださいまして誠にありがとうございます。 それでは案件に移りたいと思います。まず案件1について担当者からご説明いたします。
<b>案件1 サービス事業等の実績報告について</b>	
事務局説明	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"> <b>配付資料：資料1-1 介護予防・生活支援サービス事業実績報告書</b>  <b>資料1-2 介護予防・生活支援サービス事業の効果</b> </p> </div>
司会 （地域包括ケア推進課）	栄養士派遣指導事業については、3～5年後の長期的な視点で食育の大切さを理解してもらえたらと思っています。 今の報告に対して質問やご意見はございますか。また、各団体で食育についての取り組み等がありますか。
枚方市訪問介護事業者会	訪問介護では、医療食や治療食はありますが、食育について介護の分野ではあまり聞き慣れないです。
枚方市特別養護老人ホーム施設長会	アレルギー食や治療食が優先されています。施設では、管理栄養士により食事の献立があり、栄養面に配慮した食事の提供を行っています。
枚方市デイサービス連絡協議会	事業所によって対応は違うというのが、実情だと思います。小規模になれば利用者の好みなどを聞いて対応しているところもあるのではないかと思います。
枚方市介護支援専門員連絡協議会	ケアプランを作成する上で、医師からの指導がある方については注意しますが、食育という観点での支援を考えているところは少ないかと思います。 ケアマネジャーとして要支援の方のケアプランを作成していますが、地域包括支援センターから介護予防・生活支援サービス事業の説明を受けていても、どの様な状態の方がどの事業に該当するのかという判断が依然として難しいです。
事務局	介護予防・生活支援サービス事業の事業内容など情報提供方法については、今後考えていきたいと思っています。
大阪高齢者生活協同組合	生活援助訪問事業について、枚方市生活支援員養成研修の受講者数と実際に活動されている人数は把握されていますか。また、ひらかた高齢者保健福祉計画 21（第7期）で生活支援員の養成を設定していますか。 また、介護保険制度改正において、社会保障審議会介護給付費分科会資料では、訪問介護における生活援助を提供する者の研修を3日間程度の簡易な研修にするというような内容がありました。介護保険制度の枠組みの中での議論であり、市町村の裁量ではないと思いますが、これを受けて、枚方市の生活援助訪問事業における生活支援員の養成研修について見直しは考えていますか。
事務局	まだ国における詳細な内容が確定していないため、現時点では何とも言えないのが現状です。本市の生活援助訪問事業は実績がまだ少なく、報酬改定などを含む大きな事業内容の見

	<p>直しをするための検証については、来年度以降となることから、ひらかた高齢者保健福祉計画 21（第8期）でと考えています。</p> <p>他の介護予防・生活支援サービス事業についても、事業の在り方等この場で意見を伺いながら見直しを行っていく予定です。高齢者が自立した生活を再び取り戻すため、状態に合わせた事業の組み立てを考え、実情を把握しながら一緒に創っていきたいと考えています。</p>
<p><b>案件2 第2層協議体（元気づくり・地域づくり会議）の設置状況報告について</b></p>	
<p>事務局説明</p>	<p><b>配付資料：資料2-1</b> 元気づくり・地域づくり会議の設置状況</p> <p><b>資料2-2</b> 元気づくり・地域づくりコーディネーター （第2層生活支援コーディネーター）の活動方針（取組内容）</p> <p><b>資料2-3</b> 元気づくり・地域づくりプロジェクトの進捗状況について</p> <p><b>資料2-4</b> 生活支援コーディネーター プラン進捗管理表要約</p>
<p>司会 <small>（地域包括ケア推進課）</small></p>	<p>今の報告に対して質問やご意見はございますか。</p>
<p>枚方市校区福祉委員会協議会</p>	<p>第2層協議体で既存の取り組みを広げていくことも大事ですが、新しいことに取り組むことも大事だと思います。</p> <p>私の校区では「居場所づくり」に取り組んでいます。居場所に来てもらうことが介護予防にもつながると思いますし、居場所での活動は体操など取り組みやすいことから始めようかと考えています。</p> <p>ところが、既存の様々な活動の中で新たに居場所の拠点となる場所を見つけて、家のオーナーに相談すると、場所を貸すのは問題ないが、税など配慮がないものかと言われることがあります。何か市で取り組んでいることがあれば教えて欲しいです。</p> <p>また、積極的な自治会活動が地域を創っていく上では重要です。その自治会活動をいかに援助するかが大切だと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>空き家対策については空き家の把握や活用法など市で検討しているところではありますが、空き家を資産として保有している限り固定資産税等の税の優遇措置等は難しいのではないかと思います。</p> <p>市でも協働によるまちづくりの推進のため市民活動課が活動の支援を行っています。</p> <p>また、様々な事業について使える時に使ってもらえればと情報提供しているつもりが、地域で活動されている方達が真摯に受け止め、考えていただけるため、かえって「取り組まなくてはいけないこと」とプレッシャーを与えることとなり、負担をかけているのではと懸念しているところです。もっと上手く伝えることができるよう勉強していきます。</p>
<p>枚方市校区福祉委員会協議会</p>	<p>自治会活動を活発にするための方法として自身の地域で取り組んでいることは、役員を当番制にすることです。自治会の役員を一度経験してみると「ああ、こんなものか」と思ってもらえて継続して関わってもらえることが多くあります。</p>

枚方市介護支援専門員連絡協議会	<p>地域で1人でも「おせっかい」な方がいれば、雰囲気が変わり、地域での取り組みなどが大きく進むことがありますよね。</p>
枚方市訪問介護事業者会	<p>私は、この第1層協議体に参加するようになったこともあり、自分の住んでいる地域の「歩こう会」や「餅つき大会」などに参加するようになりましたが、周りは自分より年上の方が多く、若い世代の参加者が少ないのかなと思いました。</p> <p>今後は地域の中での世代交代も踏まえて、いかに若い世代に参加してもらうかを考えていかなければならないと思います。</p>
枚方市校区福祉委員会協議会	<p>地域活動における取り組みの1つとして、小学生を対象に防災訓練を7年程実施しています。長くやっていく中で、今度は中学生を対象に防災訓練を実施してくれないかと中学校の校長から依頼があり、防災学校の開催を検討しています。</p> <p>日中仕事で家にいない親世代に比べて、小・中学生は家にいることが多いことからこのような取り組みを始めた訳ですが、大切なことは色々と経験してもらうことです。地域における介護予防も、知恵を絞れば様々な取り組みが出来ると思います。</p> <p>地域活性化の例として紹介してもらいました。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>枚方市社会福祉協議会では、地域活動の支援で何か感じたことはありますか。</p>
枚方市社会福祉協議会	<p>ほぼ全ての第2層協議体に枚方市社会福祉協議会のCSW（コミュニティ・ソーシャルワーカー）が参加しています。校区でも取り組みが様々で、活動的なところもあれば、年2～3回会議をするところもあります。</p> <p>私自身、第2層協議体に参加させてもらおうと校区内の情報交換は活発に行われていても、広域の情報や制度についての理解となると校区によって差が生じているという課題を感じました。そこについては当会でも情報提供を行っていきたいと思います。</p>
司会	<p>特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ枚方拠点では、第2層協議体との関わりはありますか。</p>
特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ枚方拠点	<p>一部の地域で会員が関わっていることはありますが、団体としての全体的な関わりはまだありません。</p> <p>少し話は変わりますが、生活援助訪問事業について現在27名の利用者がおられ、約30名が生活支援員として活動しています。</p> <p>活動している生活支援員から、1回目の訪問では話もしてくれなかった利用者が、2回目は少し話をしてくれるようになり、その後、玄関に迎えにまで来てもらうようになり、回を重ねるごとに利用者が元気になっていく様子を見るのが嬉しいという声がありました。</p> <p>しかし、運営していく上での賃金の課題や、生活支援員が通える範囲というのが、自宅周辺で徒歩や自転車で訪問できる範囲と限定されることから、利用希望者とのマッチングや調整が難しい現状があります。</p> <p>また、当会ではこれまで4回、枚方市生活支援員養成研修を実施し、約190名が受講されました。受講者のほとんどが60代後半から70代前半の方でした。実際に研修の修了者が生活支援員として登録するのは数人しかいない状況ではないかと思われまます。</p>

事務局	<p>枚方市生活支援員養成研修の受講者数が今年度に入って大幅に減少しています。</p> <p>この課題を解決するため、先月から65歳を迎えた介護保険の被保険者に対し、被保険者証を送付する際に、枚方市生活支援員養成研修の開催案内を同封するようにしています。</p> <p>また先日、民生委員児童委員を対象に枚方市介護予防・日常生活支援総合事業の進捗状況の説明を行った際に、生活支援員について興味を示してくれた方もいましたので、今後受講者が増えてくることを期待しています。</p>
枚方市老人クラブ連合会	<p>老人クラブの加入者は減ってきているように感じます。老後の人生設計で、老人クラブ等には加入せず、自分の生活を送りたいという方も多いと思います。</p> <p>私自身も生活支援員養成研修を受講しましたが、事業の内容についての理解が深まり、地域の方にも一定の情報提供ができるようになりました。</p> <p>今後、事業を通じて組織同士の交流に繋がるのではないかと思いますし、地域で活動してくれる仲間が増えていったら、信頼関係も築いていけるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>地域住民だけ、事業者だけということではなく、分け隔てなく地域の助けあいや支えあいの体制構築が実現出来ると良いですね。</p>
枚方市介護支援専門員連絡協議会	<p>私自身、自治会の役についていたことがあります。また母親が地域で3B体操をやっております。</p> <p>地域で3B体操を始めた経過としては、周りから定期的に体操を実施して欲しいとの依頼がありました。</p> <p>しかし定期的に実施する場合、施設使用料や講師報酬などの費用が課題となり、市で支援してもらえないかという相談が私にありました。</p> <p>すると、その話を聞いていた私の20代の子も達が、「おばあちゃんの年金より少ない給料で年金も保険料も払っている。その上まだ俺たちの税金を増やす気か。」という意見を言いました。それを聞いた母は、「自分たちで何とかできないか考える。」と言い、定期的を実施するとどのくらいの費用が必要で、参加希望者一人あたりの負担がいくらになるのか皆で検討しました。</p> <p>検討すると、「一人あたり月500～700円程度」の負担で定期的な開催ができるため、まずは始めてみようとして3B体操をやりだしました。今では参加者も増えてきて、これ以上増えたらもう管理できないとボヤいています。</p> <p>行政の支援がなくても、工夫次第でできることもあるという例として紹介させていただきました。</p>
司会 (地域包括ケア推進課)	<p>そろそろお時間となりましたので、これで平成29年度第2回第1層協議体を終了いたします。</p> <p>次回は生活援助訪問事業の運営基準の見直し、リハ職訪問通所指導事業の拡充について検討したいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>